

2023年8月期 取引先工場モニタリング結果

取引先工場の評価

良品計画が商品の生産を委託している工場の一部は、国際機関や NGO のレポートで人権、労働、環境面でのリスクが高いとされる国・地域に所在するものもあります。良品計画では、現地への訪問監査などのモニタリングを実施することでリスクの防止・軽減に取り組んでいます。また、生産委託工場が所在する国・地域で適用される人権、労働、環境に関する法令を遵守するだけでなく、人権・労働・環境に関する方針の策定、影響の評価、悪影響を防止する仕組みの導入等についても確認しています。

2023年8月期は、Tier1 73 工場、Tier2 43 工場の合計 116 工場の訪問監査を実施しました。

2023年8月期に実施した監査において、「生産パートナー行動規範¹」の項目のうち、「健康と安全（労働安全衛生）」と「労働時間」に関する指摘が多く検出されています。良品計画は、これらの指摘事項の防止と改善のための取り組みを強化していきます。

モニタリング結果と当社の対応

2023年8月期は、下記のとおり、A～Eの5段階評価において、A評価が4工場、B評価が66工場、C評価が21工場、D評価が13工場、E評価が12工場でした。

B、C、D評価の工場からは改善報告を受けるとともに、D評価の工場についてはフォローアップ監査を実施予定です。E評価の工場で確認された主な指摘事項は、非常口の施錠や消火器・避難経路が物でふさがれていることによる安全対策の不備、雇用プロセスにおける差別的条件、労働時間の不適切な管理などです。E評価の工場については、取引の継続を審議し、取引継続となった工場へは、特にリスクを防止・軽減するために積極的に改善要請を行いました。E評価となった12工場すべてで改善計画、再発防止策を合意し、順次改善の完了を確認しています。引き続きリスクを防止・軽減に取り組む観点から、フォローアップ監査を実施予定です。

評価	内容
A	指摘事項なし
B	比較的リスクの低い指摘事項あり
C	労働安全衛生、賃金、労働時間、雇用契約、環境対応などに関わる指摘事項あり
D	労働安全衛生、賃金、労働時間、雇用契約、環境対応などに関わる指摘事項が多い
E	リスクが高いことを疑わせる重要な指摘事項がある

健康と安全（労働安全衛生）

健康と安全面における指摘事項の多くは、火災安全、機械安全、個人用保護具、化学物質マネジメントに関する項目でした。具体的には、避難経路が物でふさがれている、非常口が施錠されている、機械の危険な箇所にカバーがついていない、ゴーグルや安全靴などの個人用保護具を使用していないなどで、万が一、火災や事故が発生した場合、人命

¹ https://www.ryohin-keikaku.jp/sustainability/pdf/coc_2024_jp.pdf

に関わるリスクがあることを生産委託工場へ説明し、是正を促し、改善状況を確認しています。また、工場内の研修プログラムに、機械の危険な箇所へのカバー設置の徹底や、個人用防護具の正しい着用方法を盛り込むよう依頼しています。

化学物質マネジメントでは、有害物質の容器に薬品名や MSDS(製品安全データシート)が現地語で適切にラベル管理されていない、二段型コンテナが設置されていないなどのケースが発見されました。現地法令や良品計画の労働安全衛生基準、ベストプラクティスなどを説明し、化学物質の取り扱いや使用時の危険性等に関する定期的な研修の実施を行うように指導しています。

労働時間

生産委託工場においては、労働時間を削減するために、生産計画立案方法の見直しを行うとともに、生産効率向上の要請を行い、従業員のスキルアップトレーニングを実施しています。また、勤務体制の調整、残業時間のダブルチェックのルール化などに取り組んでいることを確認しています。